

令和3年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」全国サミット（令和4年1月20日）

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



愛翔・あいちビジネスプロジェクト

～ ビジネスの視点で地域課題の解決を目指すカリキュラム開発 ～

13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

愛知県立愛知商業高等学校
教諭 梶原 英彦

プロジェクトの目的

地域ビジネスを展開できる人材の育成

※地域ビジネスとは

まちづくり、商店街の活性化、観光、起業家育成、女性の活躍の場の提供など「地域に貢献」する事業



●地域協働推進校 ◆地域協働推進連携校（16校）

コンソーシアムの構築

地域ビジネスに関する実践的・体験的な学びの実現



開発プログラム

- ①地域ビジネス理解促進プログラム
- ②ビジネス教育力強化プログラム
- ③愛知版ビジネス連携プログラム

コンソーシアム

- 国・地方公共団体
 - ・愛知県教育委員会
 - ・名古屋市東区役所
 - ・東海財務局
 - ・愛知労働局
- 教育機関等
 - ・名古屋商科大学
 - ・名古屋学院大学
 - ・大原簿記情報医療専門学校
 - ・愛知県教育・スポーツ振興財団
- 産業界
 - ・名古屋商工会議所
 - ・イオンモール株式会社
 - ・イオンコンパス株式会社
 - ・伊藤忠食品株式会社
 - ・大塚食品株式会社
 - ・株式会社中日ドラゴンズ
 - ・森永製菓株式会社
 - ・株式会社日本ドリコム
 - ・永井海苔株式会社
 - ・株式会社丸越（順不同）

1年生

【地域の課題を発見する】

- 課題発見能力
- コミュニケーション能力

地域企業講演



2年生

【地域の課題を解決する】

- 課題解決能力
- 創造力

実際のビジネスの学習
インターンシップ



3年生

【地域ビジネスを展開する】

- 企画力
- 協働的に取り組む態度

ビジネスの実践
商品開発・販売実習・広告作成



【何ができるようになるか】

地域の課題をビジネスの視点で捉え、経営資源を最適に組み合わせ、他者と協働してビジネスを展開できる

【何を学ぶか】

地域経済で行われている実際のビジネスを学ぶ

【どのように学ぶか】

地域で取り組まれているビジネスの実践例を活用したアクティブ・ラーニング

全体的な商業高校の取組

・オンライン学習による地域ビジネス理解促進 ・地域ビジネスを考察する補助教材「愛知のビジネス」の作成 ・「地域協働ビジネススキルアップ事業」の実施

コンソーシアムの構築 ～実践的・体験的学びの実現～

国・地方公共団体

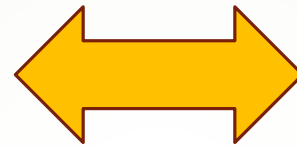
東海財務局、愛知労働局
名古屋市東区役所、
愛知県教育委員会

教育機関等

名古屋商科大学、名古屋学院大学
大原簿記情報医療専門学校、
愛知県教育・スポーツ振興財団

産業界

名古屋商工会議所、イオンモール(株)、
イオンコンパス(株)、伊藤忠食品(株)、
大塚食品(株)、森永製菓(株)、(株)丸越、
永井海苔(株)、(株)日本ドリコム、
(株)中日ドラゴンズ ※順不同



協働

愛知商業高等学校

研究推進委員会

[管理職]

[分掌主任]

[学科・教科主任]



開発プログラム① 地域ビジネス理解促進プログラム (生徒対象)

- 地域企業講演会の開催、ビジネスプランの企画立案
- 地域協働推進連携校とのオンラインによる協働学習
- 会社の運営方式に準じた活動を行う「地域協働ビジネス実践」プログラムの実施
- 開発商品の分析・評価、新たな商品開発、小売店での販売ブースの設置



○授業改善

- ・ 新たなICT機器の導入、IoT時代に合わせた授業の展開
- ・ Society5.0社会に対応した新たな授業の計画・実施
- ・ 専門的な知識・技術を有する支援員の協力による教科指導力の強化
- ・ ケースメソッドやジグソー法などの教材開発、共通評価の実施
- ・ 評価規準やフィードバック方法など学習評価に関する研修会の実施
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」に関する地域協働推進連携校との協議

○カリキュラム・マネジメント

- ・ 学校のグランドデザインに沿ったカリキュラムの開発
- ・ 地域ビジネスを考察する補助教材「あいちのビジネス」の作成

開発プログラム③ 愛知版ビジネス連携プログラム (学校対象)

- ・ インターンシップの受け入れや商品開発などの連携企業を募集する「地域企業協働バンク」の設置
- ・ 教職員向け企業研修を受け入れる地域企業の募集
- ・ 「地域協働ビジネススキルアップ事業」を立ち上げ、マーケティング活動を総合的・体験的に学ぶプログラムの実施



本事業の成果と今後の課題

本事業の成果

① 地域ビジネス理解促進プログラム

- ・ 地域企業講演会やビジネスプランの企画立案等を通して、地域の課題に対する気づき、生徒の地域ビジネスへの関心、**課題解決能力**や**コミュニケーション能力**を向上させることができた
- ・ 経理、広告、販売促進手法など、各学科の学びを通して、生徒のビジネスの**創造力**を高めることができた
- ・ 商品開発、販売実習、ビジネス体験学習等の体験的な活動を通して、多くの生徒が**チームで取り組む態度**を身に付け、**企画力**を向上させることができた

② ビジネス教育力強化プログラム

- ・ 学校のグランドデザインに沿ったカリキュラム開発を行い、**教科横断的なカリキュラム・マネジメント**実現に向けた体制を構築することで、教職員の指導力を向上させることができた
- ・ アクティブ・ラーニングの教材開発と実施を通して、**教職員の指導力向上、適切な評価方法の研究と共通理解**を深めることができた

本事業の成果と今後の課題

本事業の成果

② ビジネス教育力強化プログラム

- ・「地域ビジネスを理解するための教材が必要である」というコンソーシアム委員の意見を参考に、地域協働推進校の教職員が協力し、愛知県の課題をビジネスの視点で生徒に考えさせる**補助教材「あいちのビジネス」**を作成した

③ 愛知版ビジネス連携プログラム

- ・県教育委員会主催「**地域協働ビジネススキルアップ事業**」を活用し、県内の商業高校が地域企業協力のもと、商品開発や販売活動等を行うプログラムを企画、実践することで、県内の商業高校に通う生徒が小売業が行う実際に行う一連のマーケティング活動を総合的・体験的に学ぶことができた
- ・連携協定を締結することで「**地域協働バンク**」の登録数を増やすことができた



今後の課題

- 地域ビジネスの考察を目的に作成した補助教材「あいちのビジネス」の活用方法の検討と実践
- 地域と学校をつなぐコーディネーターの継続的な支援が得られる体制の構築

次年度以降の取組 ～ CONNECT 5 PROJECT ～

1 「社会」につなげる

- ・地域創生やSDGsの視点をもった探究型授業の展開
- ・全ての授業で1人1台タブレットの活用
- ・全ての学年でビジネスコンテストへの参加

2 「就職」につなげる

- ・社会性を養うために目的のあるアルバイトの認定
- ・企業との連携協定による新規雇用の開拓

3 「進学」につなげる

- ・商業科ならではの総合選抜型入試での進学実現
- ・大学等との連携強化による上級ビジネス教育活動の実践

4 「資格取得」につなげる

- ・専門学校との連携協定による高度資格取得のサポート
- ・「アカデミア部」の創設、日商簿記検定1級等の高度資格取得の推進

5 「ビジネスマナーの習得」につなげる

- ・TPOに合わせた服装を自分で考える「オフィスカジュアルデー」の実施
- ・企業や上級学校の外部講師の活用によるビジネスマナーの習得